

平成30年度 後期学校教育アンケートの結果を振り返って

保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
1月末にご協力いただきました学校評価の結果をまとめましたので、お知らせします。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

学校教育目標『夢に向かって輝く、竹田っ子 ～「夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子」をめざして～』を具現化するために、昨年度より学校や家庭で大切にしたいことを児童・保護者・教職員がそれぞれ自らをふりかえることができる項目・内容をたずねる形式で実施しています。

※裏面に児童・保護者・教職員の質問項目一覧をつけています。

重要度の集計結果から

【保護者・教職員のみ】

保護者の方は、全項目で97%から100%の重要度でした。質問項目③家庭学習についての質問で、前期で29年度後期の58%から大きく重要度が上がっており、今回は100%となっています。学習の定着を図るためには家庭学習が重要です。家庭学習について今後も共に考え、進めていければと思います。教職員は、全項目とも100%でした。

実現度の集計結果から

児童の実現度では、30年度前期結果とほぼ同様の傾向でしたが、質問項目⑥「約束やきまり」で3%上がっており、⑦「早寝早起き朝ごはん」で3%下がっていました。

保護者の実現度では、30年度前期と比較して質問項目①「授業にしっかり取り組む」、②「友だちと協力して学習」で上がっており、③「家庭学習」、④「読書」、⑤「あいさつ」、⑧「外遊び」で下がっていました。

教職員の實現度では、⑧「外遊び」の項目で45%となっていました。その他の項目では概ね80%以上となっており、30年度前期との比較では実現度が上がっていました。

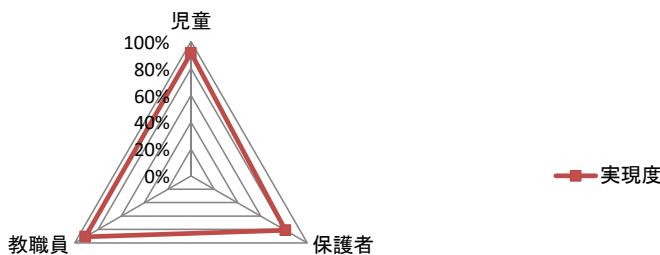
学校教育アンケート（児童・保護者・教職員）の結果

※重要度は「重要である」「やや重要である」を合わせた数値、
実現度は「よくできている」「大体できている」を合わせた数値

	質問項目	保護者 重要度	教職員 重要度	児童 実現度	保護者 実現度	教職員 実現度
1	授業にまじめに取り組む、話をしっかり聞いたり、発表したりしている	98%	100%	87%	76%	92%
2	友だちと協力して勉強している	97%	100%	92%	85%	100%
3	家で必ず宿題や自主学習をしている	100%	100%	92%	81%	91%
4	本をよく読んでいる	98%	100%	81%	49%	91%
5	まわりの人にすすんであいさつしている	100%	100%	85%	76%	85%
6	約束やきまりを守っている	100%	100%	93%	91%	100%
7	早寝早起きをし、ごはんをしっかり食べている	99%	100%	89%	77%	100%
8	スポーツや外遊びで、からだを動かしている	97%	100%	91%	67%	45%
9	友だちとなかよく遊んでいる	98%	100%	97%	93%	91%
10	家の人とよく話している	100%	100%	95%	92%	91%
11	困ったときは先生に相談している	99%	100%	79%	81%	83%

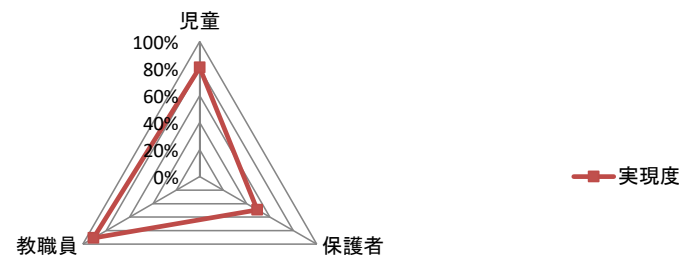
※グラフのポイントは、
実現度「よくできている」「大体できている」を合わせた数値

③家で必ず宿題や自主勉強をしている



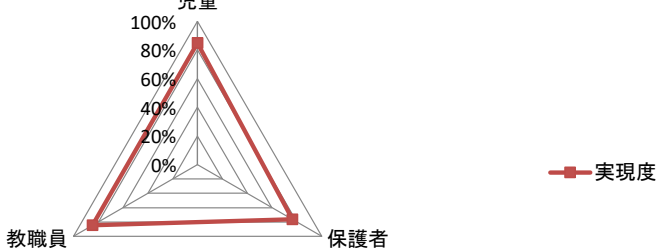
保護者の回答では重要度が100%となっていました。児童回答の詳細を見ると、「よくできている」が74%、「大体できている」が18%となっており、「よくできている」「大体」を合わせた数値は前回調査とほぼ同じですが、前回に引き続き「よくできている」が全体の3/4となっています。保護者回答の重要度の大きな変化が押し上げていると思われます。後期は漢字検定などの具体的な目標があったためと思われます。今後も取組内容を保護者の方と共有し、学習内容のさらなる定着が図れればと考えています。

④本をよく読んでいる



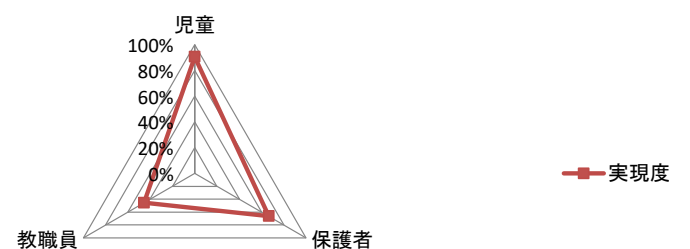
図書委員会の取組や本の会、学校司書の働きかけで、本を手にとることや、図書館の利用は後期も増えてきています。帰宅後については、本を手にする場面が少ないのかもしれませんが、学級図書などの貸出しを検討し、自宅へ本を持ち帰ることににより、家でも読書する機会をもつことができるとともに、お家の方からの声かけができやすいようにしていきたいと思います。

⑤まわりの人にすすんであいさつをしている



前回から、保護者の重要度が100%に近づき、保護者の働きかけが引き続き児童の実現度の姿につながっていると思います。また、児童の約40%が「よくできている」と回答しています。子どもたちのあいさつする姿が持続し、気持ちのいい声かけが朝からできるように進めていきたいと思います。

⑧スポーツや外遊びで体を動かしている



児童の回答では実現度91%と回答しています。中間休みや昼休みに運動場で元気に過ごす声がこの冬の間もよく聞こえています。後期は暗くなる時刻が早いので、帰宅後に外遊びはなかなかできにくいかもしれませんが、学校で元気に過ごせるようお声がけいただければと思います。また、教職員の回答では45%と低くなっています。外遊びについて、子どもたちへの声かけは達成できていますが、一緒に体を動かすという点で十分達成できていないところがありました。

自由記述欄から

（いただきました全てのご意見は教職員全員で共有しております。）
「子育て」「家庭学習の習慣化」「子どもたちの遊び場所」「自主学習の内容」「図書館の利用」「子どもたちの行動」「安全面」「登下校のマナー」など、ご意見やご指摘を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

学校運営協議会理事会より

子どもたちの安全面について、特に下校時のマナーとして、道に広がって歩いている場面、車等の通行に注意が十分できていないのではと思う場面があり、気になっている。見守り活動、声かけをしていながら、家庭・地域・学校が共に子どもたちの安全面について取り組んでいきたい。また、引き続き体験のできる地域行事などでも協力していきたい。

学校教育アンケート全体を通して

昨年度のアンケートから自己評価する形式となり、今回で4回目です。保護者アンケートの記述から、「子どもへの働きかけを見直したい機会となりました。」という感想や「難しい年齢となり、素直に言えない」「大人の思いがなかなか伝わらない」といった課題についての記述もいただきました。本校で実施している「ほっこり子育て広場」では、前回スクールカウンセラーも参加し、子どもたちへの関わり方などについて交流しました。今後も子どもたちの理解とともに働きかけについても一緒に考えていければと思います。

前期のアンケートから、保護者アンケートの重要度の大きな変化が引き続き保護者・児童の実現度に結びついていると思われます。少しでもいい変化が見られた時には、「ほめ」の言葉をかけていただき、今後も家庭と学校とが連携し、子どもたちを見守っていければと考えています。